

主催：兵庫県社会福祉士会 災害支援委員会（拡大学習会①）

～福祉専門職による減災～

BCPと災害・企業(事業)体の社会的責任

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、福祉専門職による全国的な災害支援が展開されるなど、福祉専門職が大きな力を発揮しました。

今後三十年以内に南海トラフ地震等が起こる可能性が高いと専門家から指摘されています。令和3年度には、高齢者や障がい者等の避難行動要支援者に対する個別避難計画の策定が市町の努力義務となり、また、介護事業者にBCP策定が義務化されるなど、福祉専門職にとって防災は大きなテーマになってきています。

福祉専門職として、BCP（事業継続計画）の作成にどのように関わるべきか、また、その社会的な責任はどこまで求められるかなど、弁護士の永井先生を講師にお迎えし、法的な側面から学習します。

令和4年8月2日（火）

19：00～20：30

（受付：18：40～）

■対象：全国の社会福祉士会員・災害支援に関心のある方（一般）

■定員：500名（先着順）

*定員を超えて、ご参加いただけない場合のみ、連絡いたします。

■講師：**弁護士 永井 幸寿氏**

（兵庫県弁護士会所属・アンサー法律事務所）

- ・アンサー法律事務所 所長
（医療、介護、労働分野等に関する業務を得意とする）
- ・日本弁護士連合会 災害復興支援委員会 委員長・東日本大震災及び原子力発電所事故等対策本部 副本部長 等を歴任し、現在、関西学院大学 災害復興制度研究所 研究員。ライフワークとして災害復興支援に関する研究活動を行っている。
- ・避難所の立ち上げから管理運営（荘道社）・3.11大震災の記録（災害対応セミナー実行委員会）・復興まちづくりと法（三省堂）等の災害に関する論文・著書多数

■参加費：全国の社会福祉士会会員 無料 / 一般 1,000円

*一般の方には、お申込み後に参加費入金についてのご案内をメールでお送りします。案内に沿って、参加費の振込みをお願いいたします。



Zoom 開催

《申込み方法》

下記の URL、QR コードより、お申し込みください。

*お申込み後、自動返信メールが届きます。

《締切》

令和4年7月22日（金）

《申込み URL》

<https://forms.gle/rzfiHan5xMreDaWF6>



7月下旬にお申込みのメールアドレスに招待メールをお送りします。

《問合せ先》

兵庫県社会福祉士会

TEL：078-265-1330

FAX：078-265-1340

mail：entry@hacsw.or.jp

《当日連絡先》

災害支援委員会 委員長

岡本：（090）3033-7205